

## 平成22年度（2010年度）日本留学試験

# 日本語

## (125分)

**I 試験全体に関する注意**

1. 係員の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
2. この問題冊子を持ち帰ることはできません。

**II 問題冊子に関する注意**

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
2. 試験開始の合図があったら、下の欄に、受験番号と名前を、受験票と同じように記入してください。
3. 問題は、記述・読解・聴読解・聴解の四つの部分に分かれています。  
それぞれの問題は、以下のページにあります。

	ページ
記述	1～3
読解	5～29
聴読解	31～45
聴解	47～50

4. 各部分の解答は、指示にしたがって始めてください。指示されていない部分を開いてはいけません。
5. 足りないページがあったら手をあげて知らせてください。
6. 問題冊子には、メモなどを書いてもいいです。

**III 解答用紙に関する注意**

1. 解答は、解答用紙に鉛筆（H B）で記入してください。
2. 記述の解答は、記述用の解答用紙に日本語で書いてください。  
読解・聴読解・聴解の問題には、その解答を記入する行の番号 **1**、  
**2**、**3**、…がついています。解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。
3. 解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

※ 試験開始の合図があったら、必ず受験番号と名前を記入してください。

受験番号		*				*					
名前											

# 記述問題

## 説明

記述問題は、二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで、記述の解答用紙に書いてください（解答用紙には、テーマの番号を書く必要はありません）。

文章は横書きで書いてください。

解答用紙の裏（何も印刷されていない面）には、何も書かないでください。

## 記述問題

以下の二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで 400字から500字で書いてください  
(句読点を含む)。

① 現在、日本では、調理済み食品を買う人や、ひとりで食事をする人が増えるなど、食生活が変化しています。

食生活の変化について、あなたの国や知っている地域の状況を説明してください。

そして、その状況はこれからどうなっていくと思うか、あなたの考えを、理由を挙げて書いてください。

② 現在、日本では、都市部に人が集中することで、様々な方面に影響が出ています。

都市部への人の集中による影響について、あなたの国や知っている地域の状況を説明してください。

そして、その状況はこれからどうなっていくと思うか、あなたの考えを、理由を挙げて書いてください。

———— このページには問題はありません。————

# 読解問題

## 説明

読解問題は、問題冊子に書かれていることを読んで答えてください。

選択肢 1, 2, 3, 4 の中から答えを一つだけ選び、読解の解答欄にマークしてください。

## I 次の文章の内容と合っているものはどれですか。

1

科学的研究では、本来の問題を解決しただけでは、「問題を解いた」とは認めてももらえないことがよくある。過去の研究から、なにか誤った見解が生まれている場合、それが誤りであることを証明してみせなければ、ほかの学者たちは、こちらの解答が正しいとは認めてくれないのである。このことは、研究組織のありかたを考えるとき、おもしろいことに気づかせてくれる。

ふつうに考えると、研究者の数は、多ければ多いほど、研究は速く進むような気がする。ところが、研究者の数が多いと、それだけ、誤りが生み出される可能性も高くなるわけだ。その誤りを正すためには、本来なら必要がないはずの研究をやらなくてはならないことになってしまう。

わたくし自身、以前、他人の研究の誤りを証明するために、ずいぶん苦労したことがあった。…（略）…

しかし、誤りを正すことに成功すれば、まだいい。誤りにだれも気がつかないと、研究全体がまちがった方向に進んでしまうことにもなりかねない。

そうしてみると、研究プロジェクトを組むようなとき、たくさんの研究者をかきあつめるよりは、少数精銳で臨んだほうが、研究が速やかに進展する、という場合もあるのかもしれない。

（高野陽太郎『鏡の中のミステリー』岩波書店）

1. 研究者の数が多いほうが、おもしろいことに気づく可能性が高くなる。
2. 研究者の数が多いほうが、研究の苦労が減る。
3. 研究者の数が少ないほうが、研究を誤る可能性が高くなる。
4. 研究者の数が少ないほうが、研究を速く進められる可能性がある。

II 次の文章で筆者は、弁護士の仕事をする上で重要なことは何だと述べていますか。

2

弁護士の仕事の真ん中にいるのは、他ならぬ生きた「人間」であり、「社会」である。つまり、弁護士という仕事の真髓は、あくまで、「困っている人」＝依頼者のニーズに誠実に耳を傾け、それに応えるべく、依頼者のために最善を尽くすことこそであり、それと無縁な法律論を、<sup>うんぬん</sup>云々することではない。たとえば、料理包丁やまな板が、<sup>おいしい</sup>美味しい料理をつくり出すための道具であるように、法律もまた、人（依頼者）を救うための道具に過ぎない。美味しい料理を出すのを忘れ、いつまでも、料理包丁やまな板に見とれ、手入れをしているべきでないと同様、法律そのものやその解釈論に埋没し、依頼者の気持を置き去りにしてしまうことは、法律実務家にとって、いわば本末転倒のことだと思うのだ。

だから、私は、弁護士という実務家に欠かせない資質は、法律そのものを好きであるということよりも、生きた「人間」や「社会」が好きであること、少なくとも関心があるということなのだと思っている。

（道あゆみ「『法律ギライ』のあなたへ」『法学セミナー』第53巻4号 日本評論社）

1. 何より法律が好きであること
2. 法律の勉強に力を注ぐこと
3. 依頼者に法律を詳しく教えること
4. 依頼者の気持や利益を優先すること

## III 次の文章で筆者が、寮生活について最も言いたいことはどれですか。

3

西洋の教育伝統に、若者を親から離して寮に入れて教育するというところが多かった。この制度は欧米の大学にいまも残っている。オックスフォードやケンブリッジは全寮制で、ある回数以上カレッジで飯を食わないと卒業できないようになっている。

日本でも、第一高等学校などの旧制高校は全寮制をとり、施設上それができないところは一年間だけでも寮生活をすることを課した。戦後は住宅事情も悪かったが、さらにその後は個人主義が発達して、あまり寮生活をするようなことは喜ばれなくなった。たしかに個人によって、集団生活が個の自立を抑圧するような面もある。ただ、ここでは親からの自立ということが本旨である。生まれたところから離れ、親から離れ、大学のある都会に出ると、若者は大人になって自立しなければという気分になるものである。

(中山茂『大学生になるきみへ』岩波書店)

1. 寮生活は、現代の若者にはふさわしくない。
2. 寮生活には、若者を大人として自立させる働きがある。
3. 寮の集団生活よりも、若者は一人で生活させるべきだ。
4. 寮生活は、若者の個人主義をいっそう盛んにしてくれる。

IV 次の文章で筆者は、下線部「無敵な人」とはどんな人だと言っていますか。

「私は強いんだ。どんな敵が来ても負けないんだ」と思っている人は、一見、強そうに見えます。しかし、何かが起こるたびに「勝つか、負けるか」といった意識が働くため、毎日が戦闘態勢です。そういう人の人生は、緊張の連続。決して、強いとは言えません。

無敵な人に共通しているのが、敵、味方という概念がないことです。争おうと挑んでいっても、その相手に自分を敵だと思う気持ちがなければ、争いは成立しません。相手に争う気がないとわかつても、さらに攻めてくる人は、まずいないでしょう。だからこそ無敵なのです。そういった人は、争い知らずで生きていけます。人とケンカしたり、もめたりすることなく、ひょうひょうと毎日を生きながら、自分の人生を充実させていくことができるのです。

(中野裕弓『100人の村　争わないコミュニケーション』講談社)

1. 自分の強さを信じている人
2. 常に戦闘態勢にある人
3. 相手を敵だと思わない人
4. 自分のことだけを考えている人

V 次の文章で、講師が子どもたちに大切なこととして教えたいことはどれですか。

5

「成功の反対は？」。静まり返った小学6年生の教室で、講師が最初の質問をすると、一人の男の子が「失敗」と答えた。ほかの子もその通りという様子だ。講師は続ける。「そうだね。でも、今日は違います。成功の反対は、何もしないことです」。子どもたちは少し戸惑った様子で、講師の次の言葉を待っていた。

…（略）…

授業の最初に講師が「失敗」を肯定するのは、必ずやる「儀式」の一つだ。初めて学ぶことには失敗がつきもの。でも、恐れず「やってみる」ことで、「できる」ことは増えていく。それは仕事でも同じ。授業を受けて、自分でもできるという自信を持って欲しい。そんな思いで、授業の最初は必ず、同じ問いを投げかけている。

（池谷聰「成功の反対は『何もしない』」朝日新聞2007年7月22日）

1. 成功すること
2. 挑戦してみること
3. 何もしないこと
4. 自分の意見を言うこと

VI 次の文章の「赤ちゃんの声がわり」について、内容と合っているものはどれですか。

6

はじめての声がわりが、それぞれの赤ちゃんで厳密にいつ起きるのかを推しはかることは、今のところ不可能である。ひとりひとりごとに、起きる時期にはかなり個人差がある。生後三ヵ月早々という早い赤ちゃんもいれば、生後四ヵ月後半というのもまれではない。一月余りもずれがあることになる。

ただ、それぞれの赤ちゃんが声がわりをしているかどうかを調べてやることは、比較的簡単だ。きげんの良いときに、赤ちゃんをくすぐってやればよい。笑って声をたてさせるのだ。<sup>いんとう</sup>咽頭が十分に拡張していると、笑い声は「ハッハッハッ」と口を伝ってやってくる。もしあなたが声がわりしていないと、「ググググ」と猫がのどを鳴らすような音が奥でするのがせいぜいで、笑い声とはならない。鼻に空気が抜けるにすぎない。

(正高信男『0歳児がことばを獲得するとき』中央公論新社)

1. 声がわりの時期は赤ちゃんによって違う。
2. 赤ちゃんの声がわりの時期は正確に予測できる。
3. 声がわりをした赤ちゃんの咽頭は狭い。
4. 声がわりをした赤ちゃんは猫のようにのどを鳴らす。

## VII 次の文章で、筆者は何が必要だと考えていますか。

7

これから日本は人口減少の時代に入ります。労働力人口は既に減り続けています。2007年からは「<sup>だんかい</sup>団塊の世代」が一斉に定年退職を迎える事態が重なります。企業は労働力の量と質の低下が、経営の基盤を揺るがしかねないと危機感を強めています。

製造業では当面する\*\*2007年問題を乗り切るため、熟練者たちの知恵と技能を若い世代に継承する取り組みを始めています。うまくバトンタッチできるかが企業の命運を分けます。

日本の製造業の強みは、高度な\*\*\*部材を供給する中小企業群の存在と質の高い技術者たちが培ってきた「現場力」にあります。今後も強みの源泉の一つである人材の育成＝ひとづくりに力を注がねばなりません。

(「ものづくりは国づくりの礎」西日本新聞2005年8月14日)

\*団塊の世代：1947年～1949年に生まれた世代。他の世代と比べ、人口が特に多い。

\*\*2007年問題：2007年以降、団塊の世代に属する労働者が一斉に定年退職を迎えることに伴う様々な問題のこと。

\*\*\*部材：構造の一部となる材料。

1. 現場の技術を次の世代に確実に伝えていくこと
2. 高度な部材を供給する製造業を数多く育てること
3. 経営の安定のため、団塊の世代の定年を延長すること
4. 中小企業が、現場で働く若い労働力をもっと増やすこと

Ⅷ 次の文章は本田さんが書いたEメールです。本田さんがメールを書いた目的はどれですか。

8

宛先： 鈴木様

件名： お借りしたビデオの件

先日はいろいろとありがとうございました。

実はあのあと、加藤さんからメールをもらい、加藤さんも私と同じような問題を抱えていることがわかりました。それで先日お借りしたビデオですが、私が見たあと加藤さんにも見せてあげたいと思いますがよろしいでしょうか。

本来なら鈴木さんに一度お返ししてからのほうがいいとは思ったのですが、来週ちょうど加藤さんに会いますので、そのときに加藤さんに渡し、加藤さんからお返しすることにできればと思います。

貴重なものをお借りして大変申し訳ありませんが、もしすぐにはお使いにならないようでしたら、そのようにさせていただきたくお願ひいたします。

ご都合が悪い場合は遠慮なくおっしゃってください。

よろしくお願ひいたします。

本田

1. 鈴木さんに直接ビデオを返したい。
2. 鈴木さんから直接ビデオを借りたい。
3. 鈴木さんから加藤さんにビデオを渡してほしい。
4. 加藤さんに直接ビデオを貸したい。

IX 次の文章の下線部「方法論的社會主義（方法論的集合主義）」とは、どのような考え方ですか。

9

社会は人間の集まりであり、ひとりの人間もいなければ社会は存在しえないという意味では、人間の諸行動とその集まり、その行為の諸結果が社会をつくっていると言える。逆に、人間個々人の誕生にさきだって存在する道徳や規範、言語などの諸制度を習得することなしには人間は人間として行動することができないという意味では、社会が人間をつくると言わざるをえない。このような2つの見方はおのおの成立しうるものであり、どちらが先行すると決着をつけることはできないわけだが、前者のような\*パースペクティブは方法論的個人主義あるいはミクロ・アプローチ、後者のようなパースペクティブは方法論的社會主義（方法論的集合主義）あるいはマクロ・アプローチとよばれる。

（藤村正之「2章 謎にみちたコスモスへ」川崎賢一他編『社会学の宇宙』恒星社厚生閣）

\*パースペクティブ：観点

1. 人が社会をつくるという考え方
2. 社会が人間をつくるという考え方
3. 1と2のどちらも成立しうるという考え方
4. 人と社会のどちらが先に成立するかは決められないという考え方

X 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

この地球を、生物が棲みやすいようにつくりかえてきたのは、生物じしんなのだ。この地表上に、酸素(O<sub>2</sub>)をつくりだしたのは生物である。そしてやがて大気上層にオゾン(O<sub>3</sub>)層ができて、紫外線からDNAを守ってくれるようになってはじめて、生物は陸地に進出できたと考えられている。それははじめ、植物だったろう。こうして岩石ばかりだった地球上に土壌が形成され、地球表面が生物に棲みやすい環境に改造される。そのなかで生命の進化がすすみ、多様な生物が生まれて、最後に人間が登場する。

無数の生物たちは、今もこの地球を、自分たちが棲みやすいようにつくりかえている。

( A ) 最後にうまれた人間は、それをたえず破壊している。

(細谷昂「地球環境」細谷昂他編『見える現代——社会学の眼』アカデミア出版会)

問1 ( A ) に入るものとして最も適当なものはどれですか。

10

1. それから
2. したがって
3. ところが
4. このように

問2 筆者は人間以外の「生物」について、何と述べていますか。

11

1. 生物は、環境を自ら生存しやすいように変えてきた。
2. 生物は、人間の生活環境を壊すことがある。
3. 生物は、環境に合わせて自分自身を変化させてきた。
4. 生物は、環境を壊さなければ進化することができない。

このページには問題はありません。  
次のページに進んでください。

X I 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

私は、幼い子どもたちが時間の長さをどう感じているのかをさぐるため、様々な実験をしてきました。

たとえば、ある一定の時間に子どもたちに音を聞いてもらうと、たくさん音の鳴った場合のほうがずっと長く感じます。大人でもその傾向はあるのですが、子どもの場合には、その程度が大きいのです。

子どもは、時間の長さを、その時間内に起きるできごとの数で認識しているようです。できごとが「たくさん」つまっている時間は「長い」。「モア (MORE=より)」なら「モア」という感覚なのです。

大人は、「音は多く鳴ったけど、音と音の間は短かった」などと補正してとらえます。それは一様な「時計の時間」に慣れる間に、補正するように自然に学んだ結果です。

(松田文子「子どものじかんは、できごと時間」『母の友』2009年5月号 福音館書店)

問1 子どもが感じる「『モア (MORE=より)』なら『モア』という感覚」の具体例として、適当なものはどれですか。

12

1. 5秒間にベルが5回鳴ったら、10秒間にはベルが10回鳴るだろうと推測する。
2. 5秒間にベルが5回鳴った場合より10回鳴った場合のほうが、時間を長く感じる。
3. 5秒間にベルが5回鳴った場合より10秒間にベルが10回鳴った場合のほうが、音と音の間隔を長く感じる。
4. 5秒間にベルが5回鳴った場合より10回鳴った場合のほうが、音と音の間隔を短いと感じる。

問2 この文章の内容と合っているものはどれですか。

13

1. 子どもと大人で、時間の長さの感じ方に差異はない。
2. 子どもは大人よりも時間を長くとらえる傾向がある。
3. 人は、一度学んだ時間の感覚を変えることができない。
4. 大人の時間の感覚は時計に影響されている。

X II 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

創造性とは一体何なのか？ これは大変難しい問題である。しかし、これまでの数多くの発見を顧みると、次のようなことがわかつてきた。すなわち、創造性を發揮するうえで重要な思考とは、「一見、無関係」のものを関連させる思考の働きなのである。これを「拡散的思考」という。拡散的思考は与えられた課題や情報を自発的に加工して、多種多様な情報を自ら次々とつくりだし、まったく新しい視点から多くの解答を見出していく思考のことである。このような思考過程は必ずしも論理的・分析的とはいはず、ときには非合理的・非分析的なインスピレーションとして生じることもある。しかし、創造的な思考をするうえでは重要なものなのである。

これに対して、論理的・分析的・系統的に筋道を立てて、解答にたどりつくときに働く思考を「収束的思考」という。学力検査や知能テストのように、解答法がきちんとときまつていて、1つまたは少数の正解しかないような問題を解くときに働く思考である。この場合、与えられた情報や条件の利用の仕方には一定のルールがあり、かってに加工・修正することは許されない。

(堀野緑「9講 言語と思考」堀野緑他『よくわかる心理学28講 女性の視点から』福村出版)

問1 創造的な発想をするためには、どの思考を働かせますか。

14

1. 拡散的思考を働かせる。
2. 収束的思考を働かせる。
3. まず、収束的思考を、それから拡散的思考を働かせる。
4. 拡散的思考も収束的思考も同時に働く。

問2 創造的な発想をするためには、何が重要だと述べていますか。

15

1. つながりのなさそうなものを関係づけて考えること
2. ものごとの背景にあるもともとの考え方を理解すること
3. ものごとの論理や筋道を理解すること
4. 与えられた情報や条件を、ルールに基づいて利用すること

X III 次の文章で筆者は、クジラの起源に関する今までの研究について解説しています。  
これを読んで後の問い合わせに答えなさい。

イルカとクジラはまったく同じなかまで、イルカには申し訳ないが、大雑把に鯨類と呼ぶことが多い。最近まで彼らの祖先がどのような動物なのか、はっきり分かっていなかった。かつて陸を歩いていた哺乳類<sup>ほにゅうるい</sup>が海に入ったものだということは確かなのだが、では、どんなグループからクジラやイルカが進化したのかとなると、あまり明確ではなかったといえる。およそ五千万から四千万年以上前に陸上を歩いていたある肉食性の哺乳類の頭部が、ほぼ同時期の古いタイプのクジラによく似ていることから、そんなグループから<sup>かいせい</sup>\*海棲<sup>かいせい</sup>のクジラが生み出されたと信じられていたこともある。

ところが、二十一世紀に入る頃から、幅広い哺乳類の遺伝子を調べた仕事が相次ぎ、クジラの遺伝子が、ウシやシカ、ラクダやイノシシ・ブタのなかまに非常に近いことが分かってきた。これらのいかにも植物を食べそうな大型の獣たちを偶蹄類<sup>ぐうているい</sup>と呼ぶのだが、鯨類は泳ぐために形を変えてしまっているけれども、実際には偶蹄類にとても縁が近く、大昔、古い偶蹄類が海に泳ぎ出て鯨類を生み出したという学説が説得力をもったのである。ダメを押すかのように、後肢のある最初期のクジラの化石が西アジアから発見されて、彼らが多く点で偶蹄類と同じ特徴をもっていたことが明らかにされるに至る。そのなかでももつとも有力な根拠は、足首の骨だ。私たちがよく知る偶蹄類の足首の骨は、二つ並んだ滑車のような関節を備えている。この形が、もつとも古いタイプの、（もちろん足のある）クジラの足首と\*\*瓜二つ<sup>うりふた</sup>だったことが証明されたのである。

(遠藤秀紀『解剖男』講談社)

\*海棲：海にすむ

\*\*瓜二つ：よく似ていること

問1 二十世紀までの研究では、クジラの祖先はどのような動物だと考えられていましたか。

16

1. 肉食性の哺乳類
2. 草食性の哺乳類
3. 偶蹄類
4. イルカ

問2 下線部「もっとも有力な根拠」とされているのは、どれですか。

17

1. 古いタイプのクジラと肉食性の哺乳類とで、足首の骨が似ていること
2. 古いタイプのクジラと偶蹄類とで、足首の骨が似ていること
3. 古いタイプのクジラの足首に似た骨が、現在のクジラにあること
4. 偶蹄類の足首に似た骨が、現在のクジラにあること

X IV 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

近代以前の社会がごくゆっくりと変化していく社会であるのにたいして、近代社会はそれとは比較にならぬ速度で変化していく社会だ。変化をもたらす最大の要因は工業生産力の発展であって、物質的な富を増大させるこの変化は、大多数の人びとによって社会の「進歩」として歓迎された。昨日と同じように今日があり、今日と同じように明日があるのではなく、昨日より今日が、今日よりも明日が前へ進むのが近代社会であり、前に進める力として個人の自由な創意、自由な活動、自由な生きかたが容認され、歓迎される。停滞を嫌い、変化や進歩をよしとする近代社会は、社会の目に従って生きる生きかたよりも、社会の目に<sup>\*あらが</sup>抗って生きる生きかたのほうを時代にふさわしいものととらえるのだ。

それに、社会がめまぐるしく変化し進展していく状況下では、社会の目に従うといつても、その目が変化し進展していくから、前近代におけるように、社会の目が確固たる基準とはなりにくい。…（略）…前近代の優等生は、確固不動の社会の目に従う安定した生きかたを堅持できたかもしれないが、それとの比較でいえば、近代の優等生は社会の目に従おうとしても、そちらが多様で不確実であるがゆえに、その生きかたも不安定とならざるをえないのだ。

（長谷川宏『高校生のための哲学入門』筑摩書房）

\*抗う：逆らう

問1 下線部「この変化」が生じた背景として、最も適当なものはどれですか。

18

1. 物質的な富が増大したこと
2. 工業生産力が伸長したこと
3. 社会の進歩が止まったこと
4. 個人の自由が容認されたこと

問2 近代の優等生の生きかたが不安定にならざるをえない理由はどれですか。

19

1. 近代社会では後退することができないから
2. 社会のものの見方が絶えず変わっていくから
3. 社会に逆らって生きなければならないから
4. 自由な生きかたをしなければならないから

X V 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

自分の専門分野、「この道でプロを目指す」という目標をどうやって選べばよいでしょうか。

これは誰しも悩む問題です。自分のやりたいことをみつけるには時間がかかります。しかも一度見つけたと思っても、途中でしばしば変わります。

誰もが考えるよう 「自分の好きなものをやる」のが理想的です。

しかし「これが好きだから」と思ってやってみても、自分に才能がないことに気づいて、断念することもあるでしょう。

あるいは社会に出て実際にその仕事をやってみたら、思っていたのと全然違っていたりすることもあります。

ショックを受けるかもしれませんが、実はむしろそのほうがよくあることなのです。

少なくとも若いちは、「自分が何をしたいのか」という対象はくるくる変わるもので、社会のことも、自分自身のことも知らないのですから当然です。

ですから若いちはあまり頭で先々のことまで考えずに、自分の好きなこと、自分がやりたいことにぶつかるまで、何でもやってみて探したほうがいいと思います。

何かの仕事をやってみて、自分がほかの人と比べて相対的に優れているという状況になると、だいたいそれが好きになるものだ、ということです。

(榎原英資『君たちは何のために学ぶのか』文藝春秋)

問1 この文章で筆者が勧めていることはどれですか。

20

1. 始めた仕事は最後までやりとおすこと
2. 若いうちはいろいろな仕事をしてみること
3. 仕事をする前に、その仕事についてよく調べること
4. 自分に合った仕事を早くみつけて経験を積むこと

問2 下線部「ショックを受けるかもしれません」とありますが、どんなことにショックを受けると述べられていますか。

21

1. やりたい仕事をみつけるのに時間がかかること
2. やりたい仕事をやめさせられること
3. やりたかった仕事が自分に合わないこと
4. やりたい仕事がどんどん変化してしまってこと

X VI 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

鳥の中には、頭を動かさずに周囲 360 度すべてが見えるというものがいる。ヤマシギである。

ヤマシギは本州以北で繁殖し、本州や九州、四国、沖縄で越冬する鳥である。日本全国で見ることができるのだが、昼は林の中でじっとしていて夜活動するので、見かけることが少ない。それでも繁殖期には、夕暮れの林の上空を「ピッチ、ピッチ」と鳴きながら飛ぶ姿を見ることができる。

ふつう、肉食動物の眼は前方に並んでいて、両眼視することができる。狩りをするときに、獲物との距離を正確に知る必要があるからだ。ところが、草食動物の眼は顔の両側についていて、周囲を広く見わたすことができる。天敵が近づくのを、いつも気にしなければならないからだろう。

その極端な例がヤマシギだ。ヤマシギの食べ物は、土中のミミズなどである。くちばしの先にはグランドリイ氏体という感覚器官がある。ヤマシギは土にくちばしを突きさし、この感覚器官を使ってミミズを探り捕るのである。食物を探すのに、視覚を使わないのである。

だが、うつむいて食物を探らなければならないため、ふつうの眼では周囲を見張ることができない。土にくちばしを突きさしているときでも周囲を見張れるようにするには、視野を広くする方向に進化する必要があったのだろう。

ヤマシギは、眼が頭のやや後ろの頭頂近くにあるので、一度に周囲をあますところなく見渡せるのである。ところが残念なことに、人間にはヤマシギがどのような世界を見ているのかは想像すらできない。

人の眼は、両眼で物を見るようにできている。両眼で物を見ると立体的に、あるいは遠近がはっきりと見えるのである。ヤマシギは、視野を広げるために両眼視を犠牲にしている。二つしかない眼だから、どちらかを犠牲にするしかない。ヤマシギが物を立体として見ることはできるのは、前方と後方のごく狭い範囲だけである。

(柚木修『カルガモ親子はなぜ引っ越す』PHP研究所)

**22**

問1 ヤマシギの生態について、文章の内容と合っているものはどれですか。

1. ヤマシギは、日本では北の地域にしかいない。
2. ヤマシギは、日本で繁殖しない。
3. ヤマシギは、夜行性である。
4. ヤマシギは、木の実を食べる。

**23**

問2 ヤマシギの捕食に関する説明として、最も適当なものはどれですか。

1. 獲物との距離を眼で正確に測って狩りをする。
2. 周囲を広く見渡して獲物を探す。
3. 獲物を見つけてくちばしで突きさす。
4. くちばしの先を使って獲物を探す。

**24**

問3 ヤマシギの眼が、頭のやや後ろの頭頂近くにあるのはなぜですか。

1. 食物を探している間も周囲に気を配るため
2. えさとなる昆虫を広い範囲から探すため
3. 天敵に対し、自分を強く見せるため
4. 獲物を探すとき眼が邪魔にならないようにするため

**25**

問4 ヤマシギの視覚の特徴として、最も適当なものはどれですか。

1. 周囲360度が見える上に、遠近の判断能力も高い。
2. 後ろのほうはよく見えるが、前のほうはよく見えない。
3. 広い範囲が見えるが、平面的にしか見えない。
4. 視野は広いが、立体的に見える範囲は限定される。

———— このページには問題はありません。————

# 聴読解問題

## 説明

聴読解問題は、問題冊子に書かれていることを見ながら、音声を聴いて答える問題です。

問題は一度しか聴けません。

それぞれの問題の最初に、「ポン」という音が流れます。これは、「これから問題が始まります」という合図です。

問題の音声の後、「ポン」という、最初の音より少し低い音が流れます。これは、「問題はこれで終わりです。解答を始めてください」という合図です。

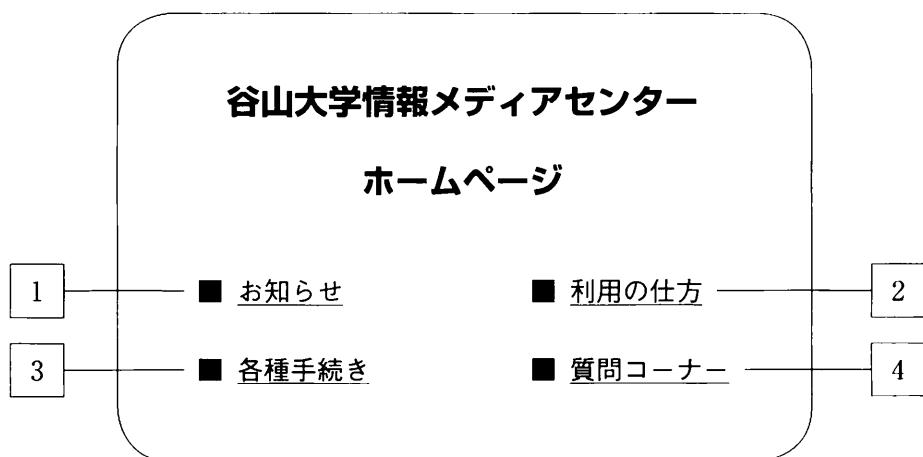
選択肢1, 2, 3, 4の中から答えを一つだけ選び、聴読解の解答欄にマークしてください。

1番の前に、一度、練習をします。

## 聽読解問題

### 練習

学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。



1番

女子学生と男子学生が掲示を見ながら話しています。この女子学生が、サークルの届出をするためにこれからしようとしていることは、どの条件に<sup>かか</sup>わることですか。

1

(学生生活課からのお知らせ)

## サークルを登録しませんか？

サークル活動を大学に届け出ることによって、大学施設の利用や学生保険の適用、活動補助費（上限20万円）の申請が可能になります。

### 届出の条件

- 1 · 構成員が15人以上であること。
- 2 · 構成員の所属する学部が2学部以上にまたがること。
- 3 · 責任者となる専任の教職員が1人いること（責任者は他のサークルとの兼任はできない）。
- 4 · 活動実績が1年以上あること（活動期間を証明できる書類を添付する）。

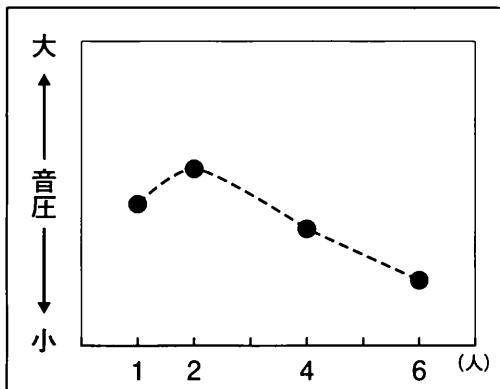
2番

先生が、集団で作業をする際の作業量に関する実験について話しています。この実験結果を図にすると、どのようにになりますか。

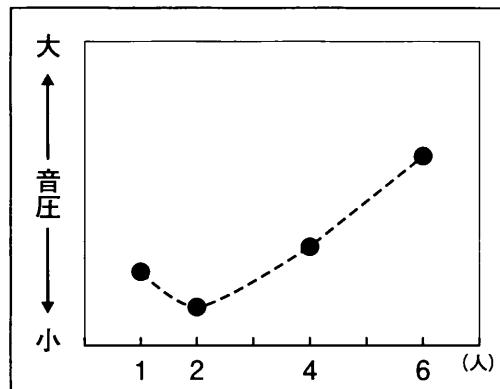
2

### 集団の人数と1人当たりの音圧

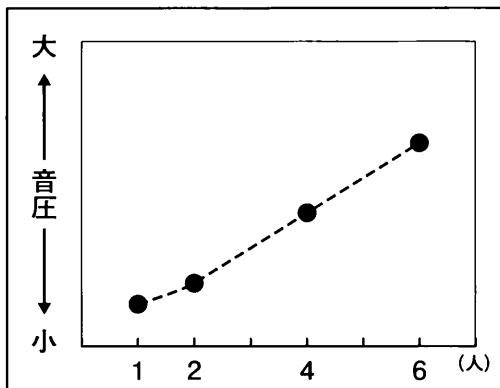
1.



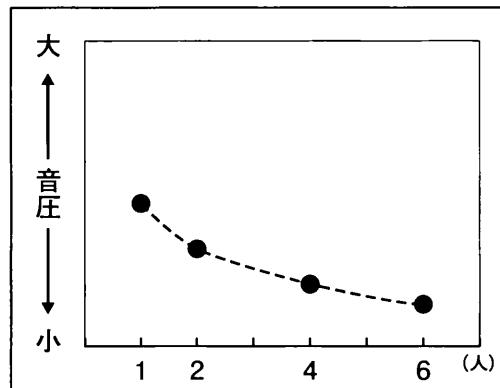
2.



3.



4.



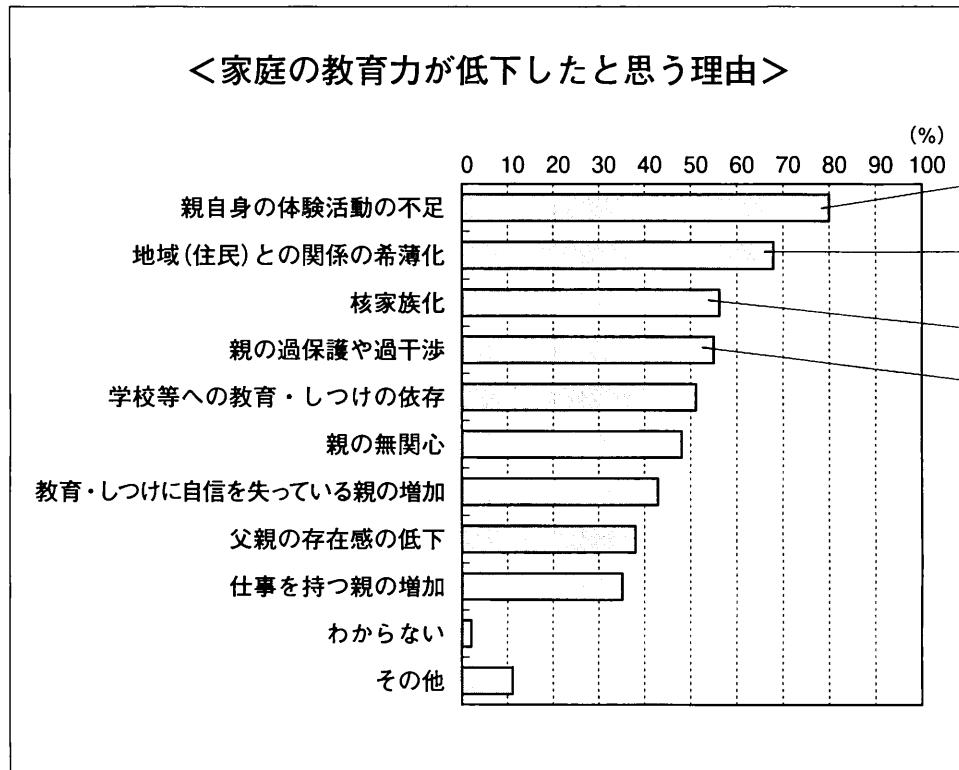
(『Journal of Personality and Social Psychology vol.37, No.6』

Bibb Latané 他 を参考に作成)

## 3番

先生が、教育学の授業で、家庭の教育について話しています。この先生は、家庭の教育力の低下に最も影響しているのは、グラフのどの項目だと言っていますか。

3



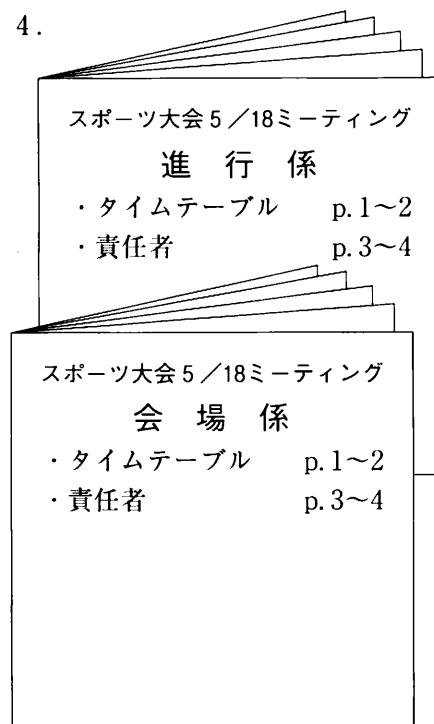
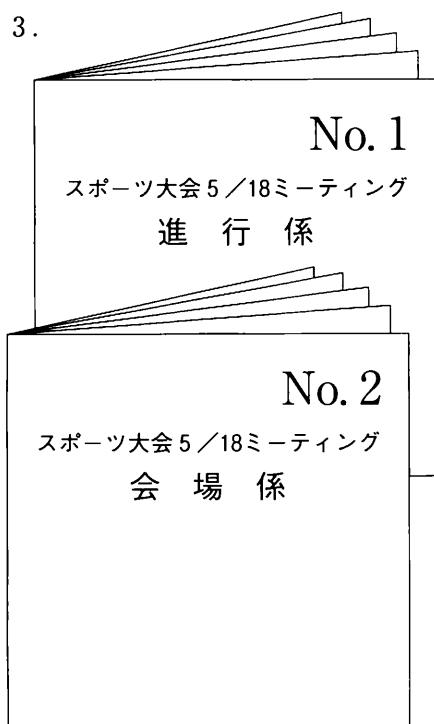
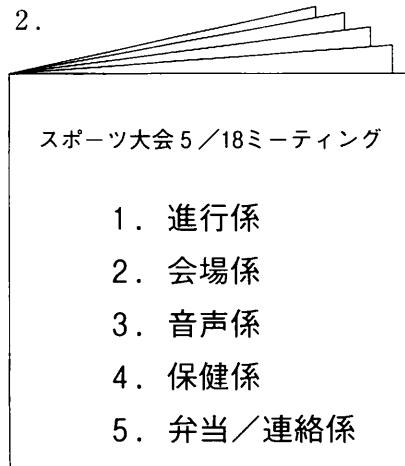
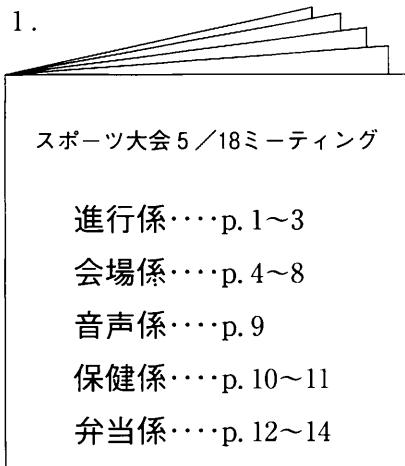
(全国都道府県教育長協議会第2部会「これからの家庭教育の在り方について」

平成18年度研究報告No.2 を参考に作成)

## 4 番

スポーツ大会の委員達が反省会をしています。反省点の一つである“配付資料”は次回からどのような形式にしますか。

4



## 5番

先生が、経営学の授業で、企業の業界での位置について話しています。この先生が最後に挙げる例は、資料のどこにあてはまりますか。

5

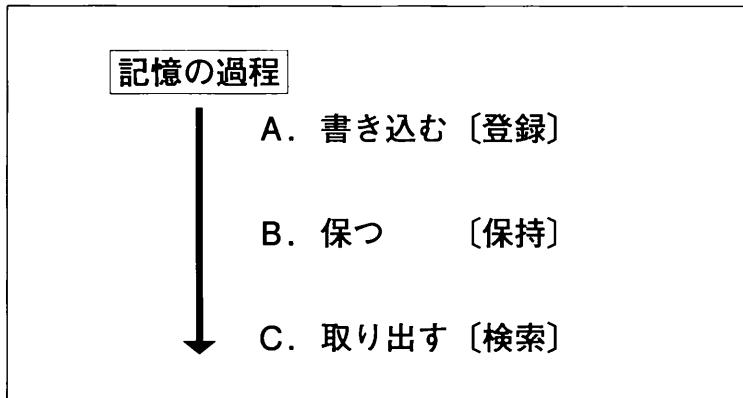
		量	
		大	小
質	高	1	2
	低	3	4

(田中洋他『はじめてのマーケティング』日本経済新聞社 を参考に作成)

## 6番

先生が記憶の過程について話しています。この先生は、アルツハイマー病の初期には脳の障害によって、記憶のどの過程に問題が生じると言っていますか。

6



(東京都神経科学総合研究所「身近な医学研究 記憶 第1話 記憶の種類」

<http://www.tmin.ac.jp/medical/08/memory1.html> を参考に作成)

1. A
2. B
3. C
4. A, B, Cすべて

7 番

男子学生と女子学生が、小学生の話し合いのしかたについて話しています。この女子学生が、今日、新しく加えたルールはどれですか。

7

××区 子ども会 話し合いプロジェクト

○月×日改定

話し合いのルール

- 1
- 2
- 3
- 4

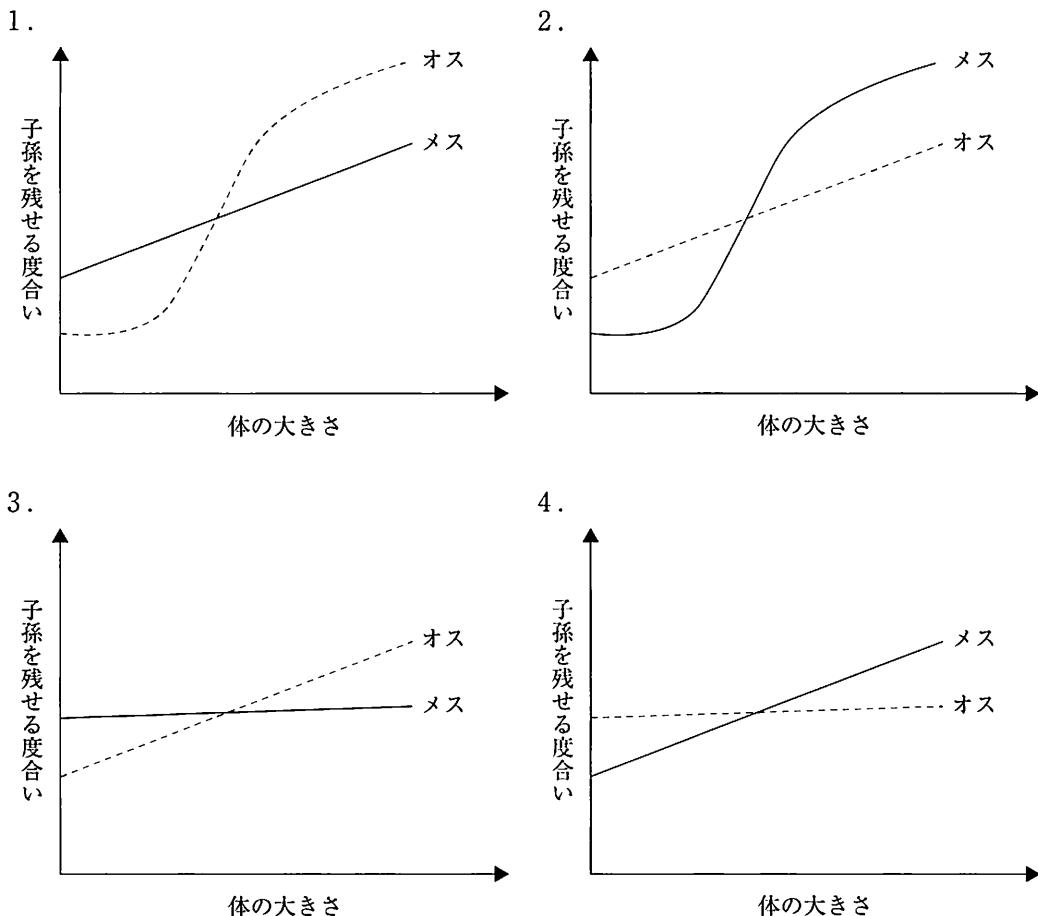
- ・話し合いの時間にだけ、議論する。
- ・話を聞くときは、他のことをしない。
- ・他人の発言をさえぎらない。
- ・話すときに泣いたり怒ったりしない。
- ・わからないことがあつたら質問する。
- ・話すときは、だらだらとしゃべらない。

(北川達夫他『図解 フィンランド・メソッド入門』経済界 を参考に作成)

## 8番

生物学の先生が、動物の体の大きさと、子孫を残せる度合いとの関係について説明しています。一夫一妻方式の動物について、先生の説明をグラフにすると、どのようにになりますか。

8



(長谷川眞理子『オスとメス・性はなぜあるのか』日本放送出版協会 を参考に作成)

## 9番

男子学生と女子学生が、商品やメーカーに対する好感度について話しています。この男子学生は、表のどの点数に注目していますか。

9

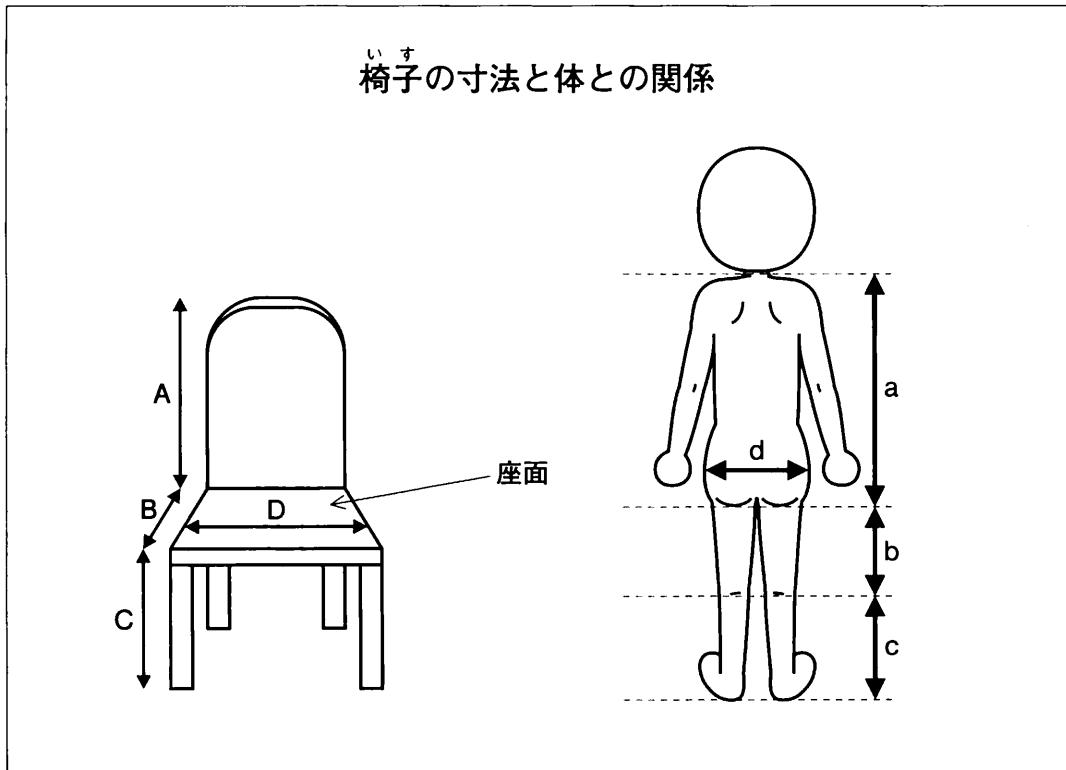
		〈商品やメーカーに対する好感度〉		
		0~100点		
		デザイン		
性能	よい	よい	普通	悪い
	よい	100点	60点	20点
	普通	20点	40点	20点
性能	悪い	0点	0点	20点
	1	2	3	4

(木全賢『売れる商品デザインの法則』 日本能率協会マネジメントセンター を参考に作成)

10番

先生が、人間工学の授業で、椅子の寸法と人間の体の関係について話しています。この先生が説明しているのは、図のどの部分の長さについてですか。

10



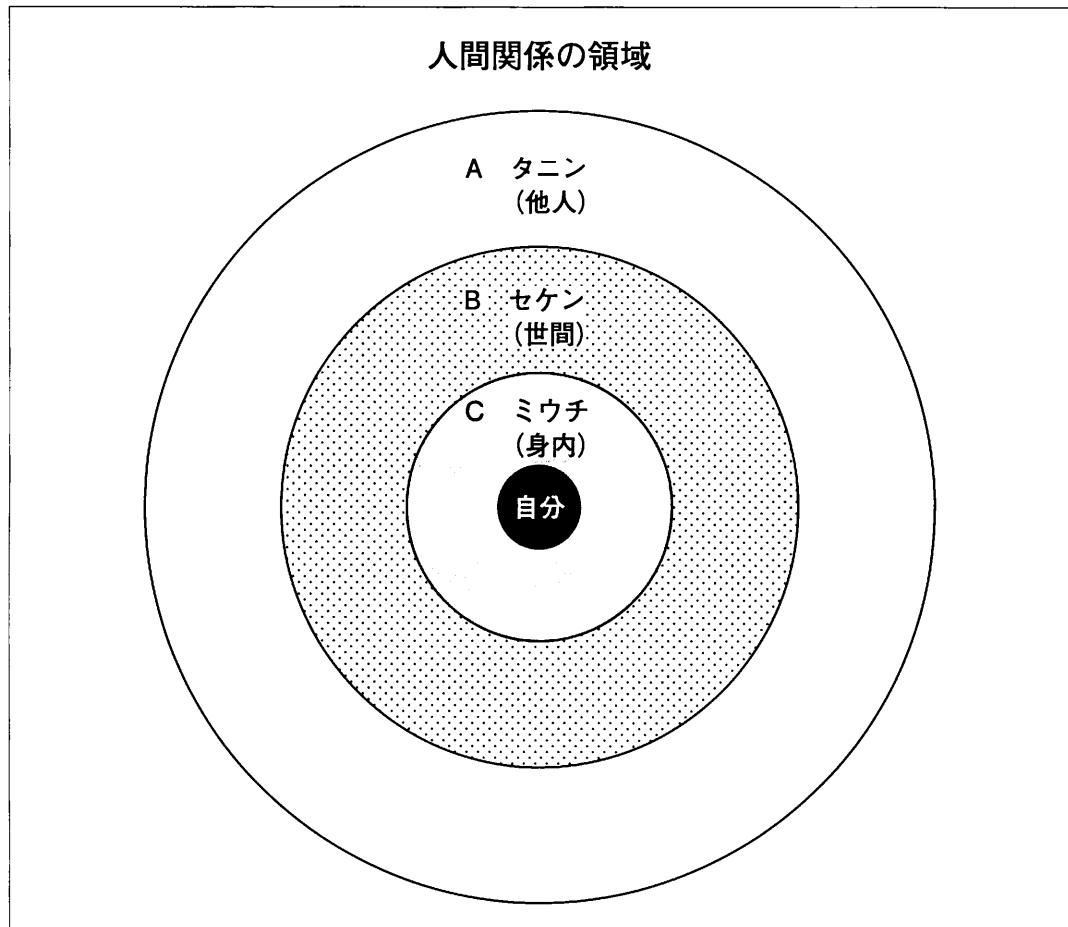
(心地よい椅子を科学する研究会編『椅子の科学』日刊工業新聞社 を参考に作成)

1. A と a
2. B と b
3. C と c
4. D と d

11番

先生が、社会学の授業で、人間関係の領域について説明しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

11



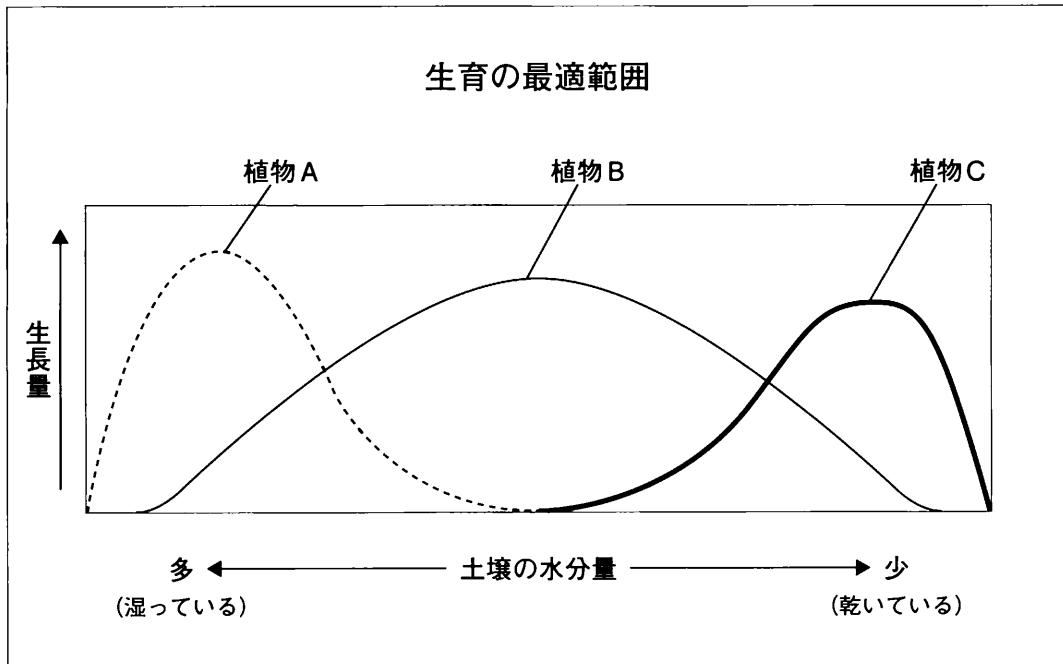
(菅原健介『羞恥心はどこへ消えた?』光文社 を参考に作成)

1. A から B
2. B から A
3. B から C
4. C から B

12番

先生が、植物の生育と競争の関係について、話しています。植物自体にとって、本来の最適な条件の場所に生育しているのは、図のどの植物ですか。

12



(宮脇昭『いのちを守るドングリの森』集英社 を参考に作成)

1. 植物 A
2. 植物 B
3. 植物 C
4. 植物 A と 植物 C

—— このページには問題はありません。 ——

# 聴解問題

## 説明

聴解問題は、音声を聴いて答える問題です。問題も選択肢もすべて音声で示されます。問題冊子には、何も書かれていません。

問題は一度しか聴けません。

このページのあとに、メモ用のページが3ページあります。音声を聴きながらメモをとるのに使ってもいいです。

聴解の解答欄には、『正しい』という欄と『正しくない』という欄があります。選択肢1, 2, 3, 4の一つ一つを聴くごとに、正しいか正しくないか、マークしてください。正しい答えは一つです。

一度、練習をします。

この問題冊子を持ち帰ることはできません。

— × モ —

— × × —

— × モ —

## ● 聴読解問題スクリプト

Track 4

**練習** 学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。

えー、これから、この大学のコンピュータの使い方について説明します。では、コンピュータの画面を見てください。今日は、大まかな説明しかしませんが、もっと詳しい事を知りたい人は、右上の「利用の仕方」などを見ておいてください。ああ、今じゃなくて、あとで。あとで見ておいてください。今日はまず、コンピュータを使えるようにするために、利用者の登録をします。では、画面の左下の項目を選んでください。

Track 6

**1番** 女子学生と男子学生が掲示を見ながら話しています。この女子学生が、サークルの届出をするためにこれからしようとしていることは、どの条件に関わることですか。

女子学生：「サークルを登録しませんか？」だって。

男子学生：へえ。サークルを大学に届け出れば、活動費をもらうことができるんだね。

女子学生：うん。

男子学生：でも、条件があるのか。

女子学生：ええと……うちのサークル、何人だっけ。

男子学生：23人。全員、教育学部の学生だけど……。

女子学生：この前見学に来た私の友だち、経済学部だよ。

男子学生：そうなの？ じゃ、もう一度誘ってみてよ。入会すればこの条件、クリアできるから。

女子学生：うん、わかった。責任者は田中先生で大丈夫かな。

男子学生：うん。大丈夫だと思うけど、今日、確認してみるよ。

女子学生：よろしく。

男子学生：活動は1年以上してるけど、証明する書類、あるかな。

女子学生：今まで使ってきた学外の練習場、あそこの使用料の領収書がとつてある。

男子学生：ってことは、残る問題は……

女子学生：あ、私の方は任せて。早速連絡してみる。

Track 7

2番 先生が、集団で作業をする際の作業量に関する実験について話しています。この実験結果を図にすると、どのようにになりますか。

人は、六人で作業をすれば、一人でする作業の六倍の作業ができるのでしょうか。今日は、その、集団で作業をする際の作業量に関する実験について話します。この実験では、被験者に、一人で、二人で、四人で、あるいは六人で、と条件を変えて、手を叩いてもらいました。力を入れて手を叩けば大きい音が出るし、力を抜けば小さくなります。音を大きくするには、より大きな努力が必要です。その音を測定するものとして音圧という指標が使われました。音圧の大小は、音を出すための努力の量の大小を表していると言えます。実験の結果、一人の時より二人の時、というように、集団に属する人数が多くなるほど、一人当たりの音圧は減少することがわかりました。つまり、六人で作業をしても六倍の作業はできないということですね。

Track 8

3番 先生が、教育学の授業で、家庭の教育について話しています。この先生は、家庭の教育力の低下に最も影響しているのは、グラフのどの項目だと言っていますか。

近年、家庭の教育力が低下していると言われます。家庭教育を支援している各地の民間団体を対象に行ったある調査では、実に全体の85%が「低下している」と回答しました。このグラフはそう考える理由を表したものです。上位を見ると、親のしつけや経験不足が問題だとする意見が多いことがわかります。また、家族の形態が、祖父母と一緒に住んでいない、いわゆる核家族になってきたことも、大きな原因の一つと考えられているようです。しかし、重要なのは、むしろ、そうした家庭を取り巻く環境の方ではないかと思います。昔は、隣近所との付き合いが今よりもっと濃くて、親が周囲の人から子どもの教育について学ぶ機会も多かったのですが、今は人と人との関わりが薄れてしまいました。それが家庭の教育力の低下に大きく影響しているのではないでしょうか。

Track 9

4番 スポーツ大会の委員達が反省会をしています。反省点の一つである“配付資料”は次回からどのような形式にしますか。

男性2：それじゃ、次に配付資料について考えたいと思います。ご意見をどうぞ。

女性：配付資料が多かったので、委員から説明をうけるときに、どの資料を見ればいいのかわかりにくかったという意見が多数ありました。

男性1：うん、確かに多かったです。次回は進行係とか会場係とか、係ごとに資料を別々にとじて、右上に大きく番号を振ったらどうでしょうか。

女性：いや、番号を振る意味はあまりないんじゃないですか。むしろ係ごとの資料の表紙にそれぞれ目次をつけたらどうでしょうか。

男性1：そうか……そうすれば「進行係」の資料の何ページ……と言えばいいからね。  
うん、そうしましょう。

男性2：目次を入れるなら、全部一冊にまとめたほうがもっとわかり易いんじゃないですか。同じような資料が何種類もあるっていうのはかえってまぎらわしいと思いますよ。

女性：そうか……。

男性1：じゃ、次回は表紙に係とその資料のページを一覧にして印刷するということでやってみましょうか。

Track 10

5番 先生が、経営学の授業で、企業の業界での位置について話しています。この先生が最後に挙げる例は、資料のどこにあてはまりますか。

企業が成功するには、その企業が業界内でどのような位置にあるかということを知っておくことがとても重要です。企業の位置は、この資料にあるような4つのタイプに分けられます。「量」というのは、業界でその企業の製品やサービスが市場にどれくらい出回っているかを表しています。「質」というのは、その製品の良し悪しで、普通は、質が高いほど大きな利益を得ることができます。

ある会社を例に考えてみましょう。この会社は幼児向けの絵本を専門に出版しているのですが、出版する絵本の多くが読者に高く評価され、根強い支持を得ています。出版物全体の市場から見れば絵本の市場は小さなものです。この会社の出版部数も、多くありません。けれども、絵本という特定の市場で、この会社は確実に収益を上げています。

Track 11

6番 先生が記憶の過程について話しています。この先生は、アルツハイマー病の初期には脳の障害によって、記憶のどの過程に問題が生じると言っていますか。

では、私たちがものを記憶する過程について説明しましょう。図のように、まず情報が脳の中に登録されます。しかし、これだけでは記憶はすぐに消えてしまいます。脳のある部分で、その情報に何らかの処理が行われて初めて、記憶として保たれます。そして、必要になったときに、しまってあった記憶情報を探して取り出す、というわけです。

こういった記憶の過程には、それぞれ脳の異なった場所が関わっています。したがって、脳に障害がある場合、その障害が起きた場所によって現れる症状も異なります。

例えば、有名なアルツハイマー病ですが、この病気の初期にはものを覚えることができないという症状が出ます。食事をしたばかりなのに食べたこと自体覚えていない、といっ

たことが起きるのです。これは、脳の情報を登録する部分に障害が生じ、脳に新しい情報を覚えこませることができなくなるために起こるものです。

Track 12

7番 男子学生と女子学生が、小学生の話し合いのしかたについて話しています。この女子学生が、今日、新しく加えたルールはどれですか。

男子学生：これ、ボランティアで参加している子ども会の活動？

女子学生：うん。子どもたちが自分達で話し合って決めるプロジェクトなんだけど、他の子の意見を最後まで聞かなかったり、途中で怒り出しちゃったりして、うまく進まないから、話し合いのルールを作ったんだ。

男子学生：へえ。それで、うまく話し合いができるようになった？

女子学生：だいたいね。でも、今日、ルールを一つ追加したの。

男子学生：なんで？

女子学生：先週の集まりの後、帰り道で、意見の違う子どもたちが、お互いに相手を批判してけんかになっちゃったんだって。

男子学生：へえ。それで、このルールを加えたんだね。

女子学生：そう。

Track 13

8番 生物学の先生が、動物の体の大きさと、子孫を残せる度合いとの関係について説明しています。一夫一妻方式の動物について、先生の説明をグラフにすると、どのようにになりますか。

メスが子供を作るためには、たくさんの栄養やエネルギーが必要です。ですから、メスは、体が大きければ大きいほど子孫を残せる度合いも増すということになります。

一方オスが子孫を残せる度合いは、その動物がどういう配偶システムをとっているかによって変わってきます。例えば、一匹のオスが複数のメスを従えるような一夫多妻方式のシステムをとっている動物においては、オスは他のオスと戦って勝たなければ自分の子孫を残すことはできません。他のオスと戦うためには体が大きいほうが圧倒的に有利ですから、オスが子孫を残せる度合いは、体が小さい時には極めて低く、体が大きくなると急激に増加する、ということになります。一方、一匹のオスと一匹のメスが対になるような一夫一妻方式をとっている動物では、オスの体の大きさと、子孫を残せる度合いとの間には、ほとんど関係はありません。

Track 14

9番 男子学生と女子学生が、商品やメーカーに対する好感度について話しています。  
この男子学生は、表のどの点数に注目していますか。

男子学生：ねえ、これ、見て。(紙の音)

女子学生：ん？

男子学生：商品のデザインについての授業でもらった資料なんだけどね。商品の性能やデザインの良し悪しによって、ユーザーが商品そのものやメーカーにどの程度いい印象を持つかを点数化したものなんだ。

女子学生：えーと……、つまり、性能が良くて、デザインもいいっていう商品の好感度は、100点ってこと？

男子学生：そう。

女子学生：へえ。デザインは良くても性能が良くないと、好感度はこんなに下がっちゃうんだね。

男子学生：うん。でもね、おもしろいのは、デザインも性能も良くない場合の好感度がゼロじゃないってことなんだよ。

女子学生：あ、ほんとだ。

男子学生：デザインが悪いと、初めからその商品に期待しないのかな。だから、性能が悪くとも、それが理由で印象が悪くなることはないのかも。

女子学生：なるほど。

Track 15

10番 先生が、人間工学の授業で、椅子の寸法と人間の体の関係について話しています。  
この先生が説明しているのは、図のどの部分の長さについてですか。

座り心地の良い椅子を選ぶには、どのような点に気をつけたらいいでしょうか。人間工学的には、体にかかる圧力が分散しているほど座り心地が良くなる、とされています。座ったときに体にかかる圧力を分散させるには、座る人の体の大きさと椅子の大きさとが合っていることが肝心です。

まず、座面が高すぎると、体の重さに加えて足の重さまで、腿やお尻にかかってしまいます。逆に座面が低すぎると、腿が座面から浮くため、腰とお尻に圧力が集中してしまいます。そのため、最も良いのは、座面の高さが下脚部、つまりひざの内側からかかとまでの長さと同じになるようなときです。そうすると座ったときに体にかかる圧力を分散させることができます。

11番 先生が、社会学の授業で、人間関係の領域について説明しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

この図は、人間関係の領域を、親しさの程度に応じてモデル化したものです。「自分」を中心とし、その外が「ミウチ」「セケン」「タニン」に分類されています。「自分」と最も親しい関係に、「ミウチ」という領域があります。そこには、家族や親族を中心とする人たちがいて、少しぐらい迷惑をかけても自分の存在を否定されることはありません。一方で、日常生活でほとんど関わりがなく、自分への評価を気にする必要がないのが「タニン」という領域の人々です。「ミウチ」と「タニン」の中間には「セケン」と呼ばれる領域があります。たとえば同じ村落に住む人々といった地域社会などがこの領域の中にあります。「セケン」の人々は、互いに依存し合いながらも甘えることは許されない関係にある生活共同体です。「セケン」でルールを守らなかったら批判を浴び、共同体の中で生きていくのが難しくなるわけで、人々は、「セケン」の目を気にして生きてきました。

しかし、近年、都市化が進んだ地域では、人々が互いに助け合わなくても生きていけるようになり、近所の人の目を気にしない人々が増加しています。ということは、地域社会は、図のどの領域からどの領域へ移行しているということでしょうか。

12番 先生が、植物の生育と競争の関係について、話しています。植物自体にとって、本来の最適な条件の場所に生育しているのは、図のどの植物ですか。

今日は、植物の生育場所がどのように決まるのかということについてお話ししましょう。この図は、水分量が異なる土に、ある植物A, B, Cを混ぜて植えた場合、それぞれの植物が、どの水分量のところでよく生長するかを表したものです。それぞれ、よく生長する場所が異なっていますね。

実はこれらの3種類の植物は、それぞれ一種類の植物だけを植えた場合、いずれも、乾きすぎず湿りすぎていないところで最大の生長量を示します。つまり、この3種類の植物にとって、本来、土壤の最適な水分量はほぼ同じというわけです。この図では、横軸のほぼ中央が、乾きすぎず湿りすぎていない最適な水分量のところです。ここは、どの植物にとっても生育に最適な場所ですが、競争に勝った植物がこの場所で生長するということになります。この場所での競争に敗れた植物は、生育条件として本来は好ましくない、別の場所で生長しているというわけです。

このように植物は、よく生長する場所が必ずしもその植物自体にとって最適な条件の場所であるとは限りません。植物は、他の植物と競争するなかで、生育できる場所を見つけて生き残る、というのが自然の実態なんです。

## ● 聽解問題スクリプト

Track 20

練習 女子学生と男子学生が、山田さんとの待ち合わせについて話しています。この二人はこれからどうしますか。

女子学生：山田さんに電話した？

男子学生：うん。

女子学生：何だって？

男子学生：急用ができたから、ちょっと遅れるって。待ってるって言ったんだけど、先に行ってくれって。

女子学生：じゃ、そうする？ でも、山田さん、研究会の場所、知ってるのかな？

男子学生：どうだろう？

女子学生：また、電話してみたら？

男子学生：いや、大丈夫だよ。先にどうぞって言ったんだから。

女子学生：そう言ったのなら、大丈夫ね。

この二人はこれからどうしますか。

1. 山田さんを待ってから行く。
2. 山田さんに先に行ってもらう。
3. 山田さんに電話をする。
4. 山田さんより先に行く。

Track 22

13番 男子学生が、大学の事務室でプロジェクターという器械を借りようとしています。  
この男子学生はこのあとどうしますか。

男子学生：すみません、プロジェクターの貸出しをお願いしたいんですが。

職員：授業ですか。

男子学生：はい。演習で研究発表をするのに使いたいんです。

職員：ええと、教室は、どこですか。

男子学生：1階の15番教室です。

職員：あ、あそこだと、教室にプロジェクターとスクリーンが設置されてますから、  
この鍵で教室を開けたら、すぐ使えますよ。

男子学生：えっ、そうなんですか。でも、使い方がわからないんですけど、どうすればいいでしょうか。

職員：ああ、そうですね。じゃ、今、係の者が行きますから、ちょっと待っててください。

さい。

男子学生：すみません、お願ひします。

この男子学生はこのあとどうしますか。

1. 係の人にプロジェクターの使い方を教えてもらう。
2. プロジェクターを借りて教室に運ぶ。
3. 係の人が教室にプロジェクターを設置するのを待つ。
4. 事務室でプロジェクターの説明書をもらう。

Track 23

14番 学生が、発表で、「道の駅」という施設について説明しています。この学生は、このあと「道の駅」のどんな問題について発表しますか。

「道の駅」は、一般道路を車で移動する人たちが利用できる施設です。ここには、トイレや休憩場所があるだけでなく、その地域で採れた農産物を売っていたり、道路案内や地域の文化を紹介するコーナーがあったりします。新鮮な野菜が安く手に入ったり、その土地の文化に触れられたりするため、観光客に人気があります。このように、「道の駅」は地域の活性化に役立っているはずなのですが、中には、地域の人々から不満が出る場合があることがわかりました。「道の駅」がとても充実した楽しい場所になったために、観光客はそこだけで満足して、その地域の町や村へは立寄らずに通り過ぎるようになってしまったのだそうです。今日はこのような問題が起こっている地域の現状について、調査したことを報告したいと思います。

この学生は、このあと「道の駅」のどんな問題について発表しますか。

1. 「道の駅」の周辺地域の観光客が減ったこと
2. 「道の駅」を利用する観光客が増えすぎたこと
3. 「道の駅」で紹介されている文化が、一部の地域のものだけであるということ
4. 「道の駅」で提供されているサービスが低下したこと

Track 24

15番 先生が、心理学の授業で、うそについて話しています。この先生は、人間が繰り返し言うことができるのは、どんなうそだと言っていますか。

「うそから出たまこと」という言葉がありますね。実際に、うそが本當になるというのによくあることなんです。例えば、うそだと思っていても、相手を「勉強家だね」と言

い続いていると、その人が本当に勉強熱心になる、というようなことは結構あります。

しかし、「勉強家だね」とほめるにしても、あまり勉強していない人に対して言い続けるのは難しいですよね。人間というのは、ふつう繰り返しうそを言うのが苦手なんです。ですから、うそをつき続けるためには、うその中にもある程度の真実味がある、ということが必要不可欠なんです。

この先生は、人間が繰り返し言うことができるの、どんなうそだと言っていますか。

1. 明らかにうそだとわかるうそ
2. 少しは本当のことが含まれるうそ
3. 他人をほめるためのうそ
4. 真実を隠すためのうそ

Track 25

16番 大学の職員と学生が電話で話しています。この学生は入学願書をどうしますか。

職員：はい、入学事務室です。

学生：もしもし、そちらの大学の受験を考えているので、入学願書を送っていただきたいんですが……。

職員：あの、東京の方ですか。

学生：そうですけど。

職員：だったら、ちょうど明日から学園祭があるんですけど、よろしかったら、いらっしゃいませんか。実際に大学の中をご自分の目でご覧になれば、大学の雰囲気なども、よくわかると思いますよ。

学生：学園祭ですか……。

職員：学園祭でも入学願書を買うことができます。もちろん、書店でも買うことができるし、こちらからお送りすることもできますよ。

学生：そうですか。じゃあ、伺います。

この学生は、入学願書をどうしますか。

1. 自宅に送ってもらう。
2. 学園祭に行って買う。
3. 本屋に行って買う。
4. 事務室に送ってもらう。

**17番** 先生が魚のえさと成長の関係について話しています。この先生の話によると、体の小さい魚は、どんな場所でよりよく成長しますか。

川にすむ魚の中には、上流から流れてくる虫などを食べて生きるものがいます。当然ながら、川の中にも、えさがたくさん流れてくる場所と、そうでない場所があります。みんなは、えさがたくさん流れてくる場所を取ったほうがいいと思うのではないでしょか。確かに大きい魚の場合はそうなのですが、小さい魚の場合はちょっと違うのです。なぜかというと、えさがたくさん流れてくる場所は、川の流れが速いので、このような場所に留まってえさを待つには、より多くのエネルギーを使ってしまうのです。逆に、川の流れが遅ければ、エネルギーの消費は少なくて済みます。小さい魚は、あまりエネルギーを消費しなくてすむ場所にいた方が、体が成長しやすいのです。

この先生の話によると、体の小さい魚は、どんな場所でよりよく成長しますか。

1. 流れの遅い場所
2. 流れの速い場所
3. えさが多い場所
4. 上流に近い場所

**18番** 女子学生と男子学生が日記について話しています。女子学生は日記にどのようなことを書いていると言っていますか。

女子学生：先月から、日記を書き始めたんだ。

男子学生：え？ 日記？

女子学生：日記っていっても、毎日のできごとを書いてるんじゃないよ。

男子学生：じゃあ、何書いてるの？

女子学生：うーん、たとえばね、努力家のを見て、いいなあ、私もそなりたいなって思ったら、「私は努力できる人間です」っていうように目標を書くの。

男子学生：へー、「努力家になれますように」じゃなくて、まるで実現したように書くんだ。

女子学生：そう、そのほうが肯定的でしょ。願いごととして書くんじゃないの。

男子学生：へえ。知り合いに、その日のよかったことだけを日記に書いてる人がいて、よくいいことばかり探せるなって感心したんだけど、目標を毎日書くのも大変だね。

女子学生は日記にどのようなことを書いていると言っていますか。

1. その日のできごと
2. その日のよかったです
3. その日決めた目標
4. その日達成した目標

Track 28

**19番** 先生が授業で、ある銀行が行った取り組みについて話しています。この先生は、この取り組みによって生まれた予想外の効果とはどんなんことだと言っていますか。

今日は、ある地方の銀行の取り組みを紹介します。この銀行では、仕事で、市内の会社や商店などのお客さんのところに行くとき、自動車を使っていました。しかし、経費を抑え、同時に二酸化炭素の排出量も減らそうということで、自動車をやめて、自転車に変えました。その結果、ガソリン代などの費用を大幅に削減することができました。そして、二酸化炭素の排出量も目標の数値に近づけることができました。また、思わぬ収穫もありました。自転車で回ると、車では通れなかつたいろいろな道を通ることができます。そこには以前は目に入らなかった会社や商店があり、それが新しい取引に結びついたということです。

この先生は、この取り組みによって生まれた予想外の効果とはどんなんことだと言っていますか。

1. 二酸化炭素の排出量を削減できたこと
2. お客様のところへ行く時間を短縮できたこと
3. 経費を大幅に節減できたこと
4. 新しいお客様を増やすことができたこと

Track 29

**20番** テレビ番組で、レポーターが化学薬品の農薬のかわりに虫を使う新しい方法についてレポートしています。この新しい方法では、虫をまくのに一番よい時期はいつですか。

レポーター：こちらのイチゴ農家では、農作物を食い荒らす害虫を殺すのに、化学薬品の農薬ではなく、害虫の天敵、つまり、害虫をえさとして食べる虫を使用しているそうです。この方法は、従来より農薬の使用量を減らせるため、注目されています。では、農家の方にお話を伺います。あのう、この新しい方法で

は虫をまく時期が重要だと伺ったんですが……。

農家：ええ、虫をまく時期によって効果に差がでるんです。害虫が増えすぎてから害虫を食べる虫をまいても、あまり効果はありません。あと、害虫を食べる虫にとっては害虫がえさになるわけですから、害虫 자체がいない時期にまいても意味がないですし、また虫を買ってから何か月もおいておくと、まく前に虫が死んでしまうこともあります。害虫が発生し始めて、これから増えるというときにまけば、害虫が増えるのに比例して害虫を食べる虫も増え、被害を押さえることができるので最も効果的です。

この新しい方法では、虫をまくのに一番よい時期はいつですか。

1. 害虫が発生する前
2. 害虫が増え始める時
3. 害虫が十分増えてから
4. 害虫を食べる虫を購入して数か月たってから

Track 30

21番 先生が、「科学を利用した商売」というテーマで話しています。この先生は、商品を売るために、科学がどのように利用されていると言っていますか。

ある商品を売るときに、科学の専門用語を利用して説明することで、消費者にいい商品だと思わせる方法がよく使われます。例えば、電化製品の新しい機能を、プラズマなど、難しくて意味がよくわからない言葉で表すやり方です。しかし、こういった、なじみのない専門用語の本当の意味をきちんと理解している人がどれだけいるでしょうか。どんな効果があるのかはっきりしないけれど、難しそうな言葉を使っているので特別な意味があるような気がする。何となくありがたく思える。消費者のそんな心理を、物を売るのに上手く利用しているというわけです。

この先生は、商品を売るために、科学がどのように利用されていると言っていますか。

1. 商品を開発するのに、科学を利用する。
2. 商品の効能を証明するのに、科学を利用する。
3. 商品の特徴を表現するのに、科学の専門用語を利用する。
4. 消費者の心理を分析するのに、科学的方法を利用する。

**22番** 女子学生と男子学生が、大学が実施した授業アンケート調査について話しています。この女子学生は、このアンケートで何について質問すべきだったと言っていますか。

女子学生：このあいだの、授業に関するアンケートだけどさ。

男子学生：ああ、学生がどれだけ授業に満足してるかっていうアンケートね。授業以外のことについても、いろいろな質問があったね。

女子学生：うん。結果が大学新聞に出てるんだけど、「授業以外で、短時間でも先生と話をしていますか」って質問に「よく話してる」って答えた人々は、授業への満足度が高かったんだって。

男子学生：授業の内容について話してるからじゃないかな。

女子学生：でも、どんなことについて話してるかっていう質問はなかったでしょう。授業の話をしているとは限らないから、そういう質問があったほうが良かったよね。

男子学生：そうかなあ。それより、授業を評価するときにどんな点を重視しているか聞いたほうが意味があったと思うな。

この女子学生は、このアンケートで何について質問すべきだったと言っていますか。

1. 授業以外で先生と話す内容
2. 授業以外で先生と話す頻度
3. 授業への満足度
4. 授業を評価するポイント

**23番** 男子学生と女子学生が、工場見学について話しています。この男子学生が感心したのは、どんなことですか。

男子学生：先週、ファスナー工場の見学に行ったんだ。

女子学生：ファスナーって、ズボンとか鞄の口に使う、あれ？

男子学生：そう。工場の中に機械がたくさんあるんだけど、すごく静かなんだ。

女子学生：なんで？ 人はいないの？

男子学生：ううん。人はいるんだけど、機械とか品物を時々チェックするだけで、ファスナーを作るのは全部機械なんだって。

女子学生：そうか。やっぱり大量生産には機械がいいんだね。

男子学生：それが違うんだよ。ファスナーを一本だけ作ってほしいっていう注文も多いんだって。

女子学生：えーっ、そんな注文にも対応できるんだ。

男子学生：そう、寸法とか素材とかの要望に応えられる柔軟なシステムが整ってるんだよね。

女子学生：へえ。すごいね。

男子学生：でも、僕はそれより、有名なブランドの製品に使うファスナーだけじゃなくて、値段の安い服なんかに使うファスナーも、質や機能を落とさずに同じように作ってるってことがすごいと思ったんだ。

女子学生：ふーん。そうなんだ。

この男子学生が一番感心したのは、どんなことですか。

1. たくさんの機械が動いているのに、静かなこと
2. 製造工程がすべて機械化されていること
3. 少ない注文にも対応できるシステムが整っていること
4. ファスナーを使用する製品の値段に関わらず、同じ品質であること

#### Track 33

24番 先生が、二酸化炭素と穀物の収穫量について、ある実験の内容を話しています。

この実験では、米の収穫量が増えた場合と増えなかった場合とがありました。米の収穫量が増えなかったのは、どうしてですか。

植物は、太陽の光と水と二酸化炭素が十分にあると、光合成を活発に行います。現在、二酸化炭素の増加が地球環境の大きな問題となっていますが、二酸化炭素が増えているのであれば、光合成が盛んになり、穀物の収穫量が増えるということになるのではないかでしょうか。

その点を確かめるために、二酸化炭素が多い環境で実験的に穀物を育てて収穫量を調べた研究者がいます。その実験の結果、米を収穫するイネなどは、窒素やリン酸といった成分を肥料として与えると、二酸化炭素の濃度が上がるに従って収穫量は増えますが、そうした肥料を与えない場合、二酸化炭素を増やしても収穫量は増えませんでした。一方、トウモロコシなどは、二酸化炭素がある濃度以上になると、むしろ収穫量は減ってしまいました。

この実験で、米の収穫量が増えなかったのは、どうしてですか。

1. 空気中の二酸化炭素濃度を一定量以上にしたから
2. 地球温暖化で二酸化炭素が増加したから
3. 肥料は与えたが、二酸化炭素は増やさなかったから
4. 窒素やリン酸の入った肥料を与えたから

25番 先生が、地理学の授業で「景観」について話しています。この先生は、都市と景観の関係をどのように言っていますか。

町の景観というのは、人々が暮らしの中で形作ってきた人工物と、その基盤にある自然物が、相互に混ざり合ったもので、地域的なまとまりを形成しています。ですから、その地域にもともとあるものだけではなく、後から新しく加わったものも景観の一部となります。景観は変化し続けるものだと考えていいでしょう。

都市は様々な整備や開発を経て成長していきます。都市の整備や開発が、他の部分にプラスの影響を及ぼしたりマイナスの影響を及ぼしたりした結果、また新たな開発が行われて、都市が成長していきます。その成長の過程は、景観の形成や変化としてとらえることができます。

この先生は、都市と景観の関係をどのように言っていますか。

1. 景観は都市の開発に関係なく変化し続ける。
2. 景観は都市の成長とともに変化する。
3. 都市が開発されると景観は悪くなる。
4. 景観の変化は、都市にとって有益なことである。

26番 先生が、会計学の授業で、企業の費用の分類のしかたについて説明しています。  
この先生が説明している「変動費」にあたるのは、どのような費用ですか。

企業が製品を作つて売るためには、さまざまな「費用」がかかります。この「費用」は、「変動費」と「固定費」に分類することができます。

「変動費」とは、生産量が増えれば、それに比例して増加していく費用のことです。例えばパン工場で考えると、小麦粉や塩といった原材料の費用などが変動費にあたります。

それに対して、「固定費」とは、生産量が増減しても変わらずに発生する費用のことです。企業は、工場の設備など、生産するための能力を一定水準に維持した上で生産活動を行っています。機械や設備の費用などは、生産量の増減にかかわらず発生するもので、固定費に分類されます。

この先生が説明している「変動費」にあたるのは、どのような費用ですか。

1. 工場の建物の修理にかかる費用
2. 宣伝のための広告にかかる費用
3. 作った製品を入れる袋にかかる費用

#### 4. 工場の機械を借りるのにかかる費用

Track 36

27番 先生が、生理学の授業で、目の錯覚について話しています。この先生は、錯覚が起こるのはなぜだと言っていますか。

暗いところで、動くはずのない物が動いて見える、という経験をしたことはないでしょうか。例えば、真っ暗な部屋の中で、たばこに火をつけて置いてみましょう。そして、その火をじっと見つめます。しばらくすると、たばこの火が動き始めます。見つめれば見つめるほど、動きは大きくなります。不思議な現象ですが、これを脳の働きで説明する仮説があるのでお話しします。

これは、一点をじっとみつめた結果、目の筋肉が疲れて起こります。筋肉が疲れると、目は見つめていた一点から離れて動き出します。それでも、対象を見続けるため、脳が目の動きを修正するように筋肉に命令を送ります。すると、目は一点にあわせようとして動くのですが、脳は、この動きを、見ているもの、つまり火が動いていると勘違いするのです。こうして、止まっているたばこの火が動いているように錯覚するのです。

この先生は、錯覚が起こるのはなぜだと言っていますか。

1. 脳が、疲れた目の筋肉を休ませようとするため
2. 目が、動いているものを追いかけるため
3. 脳が、目の動きを、見ているものの動きと理解するため
4. 脳が、目に間違った命令を送ってしまうため

# 平成22年度日本留学試験(第2回)試験問題 正解表

〈日本語〉

記述 問題解答例を315ページに掲載

読解		
問	解答欄	正解
I	1	4
II	2	4
III	3	2
IV	4	3
V	5	2
VI	6	1
VII	7	1
VIII	8	4
IX	9	2
X	問1 問2	10 11
XI	問1 問2	12 13
XII	問1 問2	14 15
XIII	問1 問2	16 17
XIV	問1 問2	18 19
XV	問1 問2	20 21
XVI	問1 問2 問3 問4	22 23 24 25

聴読解			聴解		
問	解答欄	正解	問	解答欄	正解
1番	1	2	13番	13	1
2番	2	4	14番	14	1
3番	3	2	15番	15	2
4番	4	1	16番	16	2
5番	5	2	17番	17	1
6番	6	1	18番	18	3
7番	7	1	19番	19	4
8番	8	4	20番	20	2
9番	9	4	21番	21	3
10番	10	3	22番	22	1
11番	11	2	23番	23	4
12番	12	2	24番	24	4
			25番	25	2
			26番	26	3
			27番	27	3

## 「記述」問題解答例

①

日本の食生活は、内容も食事の仕方もずいぶん変化している。昔は、毎日家で料理を作り、それを決まった時間に家族でゆっくり食べていた。しかし、現在、特に都会では、大人も子どもも時間に追われ、家族との食事より仕事や勉強を優先し、各自好きな時間に好きなものを食べることは珍しくなくなっている。また、結婚しない人や一人暮らしの高齢者、厳しい経済状況で食事の質より安さや量を優先する人も多い。そこで、東京では、安価な弁当やレトルト食品がどこでも買えるようになり、一人でも気軽に食事できる場所も増えている。

一方、このような食生活の変化は、肥満や成人病の増加につながるといった悪影響が指摘されており、食生活を見直そうという動きが出始めている。無添加食品や無農薬野菜への関心や伝統的な食事への回帰志向などは食事の質を重視する例であろう。

日本経済の現状から、食事の時間と費用を極力省こうとする傾向は今後も続くと思う。しかし、体によいものをゆっくり味わうべきだという意識も広がっていることから、日本人の食事のあり方は、手間をかけて食べるタイプとかけないタイプに分かれると思う。

②

現在、日本では都市部に多くの人が移り住んでいる。就職や就学の機会が、地方よりも多様かつ豊富であるため、そのような傾向がみられるのだと思う。

しかし、人が多いことによる悪影響もある。たとえば、土地の値段が高いため、職場や学校から離れた郊外に、狭い住居しか用意できない人がほとんどだ。よって、朝晩の電車は不快なほど混雑していて、乗車時間も長い。そのため、睡眠時間や個人の時間を確保するのが難しく、疲れがたまりやすい。また、ひとたび交通機関が麻痺すれば、かなりの人々が帰宅手段を失うことになる。彼らが歩いて自宅を目指した場合、主要幹線道路は人であふれるともいわれている。就職や就学の機会が豊富な都市部には、このようなリスクもあるのだ。

これらのリスクを避け、快適な生活を求める人々が、今後、地方に移っていくだろう。通信技術の発達により、コンピュータなどの機器さえあれば場所や時間に拘束されずに、仕事や勉強ができるようになってきた。就職や就学の機会が増せば、地方に住む人も増え、都市部に人が集まる傾向はだんだんと緩和されていくだろうと私は考える。

## 「記述」採点基準

「記述」の採点にあたっては、以下の基準に基づき採点し、それぞれの得点を表示します。

得点	基準
50 点	(レベル S) 課題に沿って、書き手の主張が、説得力のある根拠とともに明確に述べられている。かつ、効果的な構成と洗練された表現が認められる。
45 点	(レベル A) 課題に沿って、書き手の主張が、妥当な根拠とともに明確に述べられている。
40 点	かつ、効果的な構成と適切な表現が認められる。
35 点	(レベル B) 課題にほぼ沿って、書き手の主張が、おおむね妥当な根拠とともに述べられている。
30 点	かつ、妥当な構成を持ち、表現に情報伝達上の支障が認められない。
25 点	(レベル C) 課題を無視せず、書き手の主張が、根拠とともに述べられている。しかし、その根拠の妥当性、構成、表現などに不適切な点が認められる。
20 点	
10 点	(レベル D) 書き手の主張や構成が認められない。あるいは、主張や構成が認められても、課題との関連性が薄い。また、表現にかなり不適切な点が認められる。
0 点	(NA) * 採点がなされるための条件を満たさない。

レベル A, B, C については、同一水準内で上位の者と下位の者を区別して得点を表示する。

\* 0 点 (NA) に該当する答案は以下の通りである。

- 白紙のもの。
- 全文が日本語以外の言語で書かれているもの。
- 全文が課題文の引き写しで終わっているもの。
- 与えられた両方の課題 (①と②) について書かれているもの。
- 与えられた両方の課題 (①と②) の、どちらについて書かれているか判断できないもの。
- 与えられた課題とまったく無関係なことが書かれているもの (問題冊子の表紙等、課題と関係のない文章を引き写している、あるいは自己紹介で終わっている等)。
- その他、委員会の議を経て、0 点とするに至当な理由があると判断されたもの。